

IntelのWired for Management構想について(6)

WfMを実現する製品

WfMを実現する製品として、クライアント側にはIntel LANDesk Client Manager 3.0Jが有り、現在apricotのWindows 95プリインストールのデスクトップのLS550、LS660およびNetPCであるLS100にはプリインストールされています。LANDesk Client Managerは、“Managed PC”機能を実現するためのソフトウェアで、マザーボード上のリソース、デバイスドライバの種類、物理メモリや仮想メモリの容量、OS、BIOSの種類やバージョン、画面の解像度などのシステムの環境設定に関わるあらゆる情報を取得することができます。さらに、本体内には、センサーが内蔵され、内部の熱や電源電圧、ファンなどの状態を監視し、LANDesk Configuration Manager等の管理ソフトウェアに通知する役目を果たします。また、apricotの場合、Remote Wake-UP機能をサポートしています。apricotの電源スイッチは、その切り方によってサスペンド状態や、スタンバイ状態となり、LAN経由の遠隔操作で立ち上げることができます。

一方、サーバ側の製品として、Intel LANDesk Configuration Manager 1.5があります。LANDesk Configuration Managerは、現在FT1200のセットモデルとして販売していますが、クライアントのソフトウェア自動インストール、インベントリ情報の管理、トラブル対応などの機能をまとめたサーバ製品です。特長は次の通りです。

1) NetPCに対応したOSの自動インストール

クライアントPCにOSがインストールされていない状態でもサーバに接続できるネットワークブート機能を備えています。これによりFDDを持たないNetPCにもOSをインストールすることができます。OSのインストールは自動で行われ、途中の情報の入力や設定を行う必要はありません。

2) Wake on LANを備えたソフトウェア配信

アプリケーションファイルとその設定をまとめたパッケージを作成し、Wake on LAN機能を使って、マシンが使用されていない夜間に、クライアントPCに配信、実行することによってアプリケーションのインストール、設定の変更を行うことができます。

3) インベントリ情報の集中管理

クライアントのLANDesk Client Managerと組み合わせて、クライアントのH/WやS/Wに関するインベントリ情報を一個所で集中管理することができます。

4) リモートコントロール

管理コンソールから、クライアントの画面を操作したり、リポートを行ったりすることができます。トラブルが発生した場合に、遠隔で対応することができます。

(情報誌トピックス)

○ 経コンビ誌 2月2日号

特集 システム刷新成否の分岐点

→激変する経営環境に対応すべく、システムを刷新するには。その成否の分岐点を数々の実例を基に特集。ユーザはシステム刷新に取り組む基本姿勢をしっかりと定め、経営陣とシステム部門の距離を近づけた上で、プラットフォームの選定、ベンダーとの共存共栄を築く必要が有る。

レポート 立ち上がり鈍いPC98-NX

→NECのPC98-NXは注目は浴びたが、そのコンセプトが分かりにくく、立ち上がりから苦戦している。

○ 経エリテ誌 2月9日号

特集 グローバルネット時代担うLSIが集結-ISSCC98-

→最新LSIの発表の場となるISSCC98では、1GHzを超えるMPU、MPEG4対応の画像処理などのほか、ネットワーク分野の発表が多かった

ニュース 米Intel社、PentiumIIをサーバ機やノート機にも展開

→米Intelはサーバ用には、スロット2対応の2次キャッシュの大きいもの、ノート用には、最大消費電力10W以下のPentiumIIを98年中に出荷予定

○ 経バシ誌 2月9日号

特集 「インターネット・メガロポリス」の安全な歩き方

→インターネットは急激に拡大し、いろいろな情報がその中で交換され、いろいろな店舗が開店し、大都市が連なったメガロポリスと呼ぶべきほど拡大している。その中にはいろいろな不正や犯罪が存在する。個人情報への漏洩に始まり、コンピュータウィルスへの感染、いたずらメールによる被害が後を絶たない。インターネットを利用する上で注意しなければならない、インターネットメガロポリスを快適に歩くために最小限の安全対策とは。

特集 ここが変わるWindows98-日本語版の最新機能一挙公開

→インターネット活用を重点に機能拡張するWin98。IE4の組み込みや電源管理、USB対応など、Win95からの改良点を中心に特集。

ニュース コンピュータウィルス

企業での被害、7割はマクロ型 電子メールで感染広がる

○ 経オープンシステム誌 2月号

特集 ここまでできるフリーUNIX

→UNIXには、HP-UXなどの商用UNIXのほかにLinuxなどのようなフリーソフトのものが有る。確かにメーカーサポートを受けることは出はないが、ファイルサーバやプリンタサーバなどのごく軽い用途では十分にソースコードが公開されているので、有利な場合も有る。実際にフリ

ーUNIXを活用する中小のSIベンダーが、各種業務システムに応用し始めているばかりか、各種ツールも登場している。

○ **経 マルチメディア** 3月号

特集 売れ筋コンテンツ大研究

→難しいとされてきたインターネット上の“コンテンツ”の販売が一部で急速にその会員数を増やしている。その人気の秘訣は、絞り込みとコミュニティ。インターネット上でのコンテンツは万人向けである必要はなく、きわめて特化することによってその需要を掘り起こすことが可能となる。

特集 モバイル機器で作る最強のデジタルオフィス

→PHS一体型からうす型ノートまで。出そろったモバイル機器で在宅勤務、インターネットによる販売などデジタルオフィスを構築している事例の特集

○ **P.C.WAVE** 3月号

特集 おいしく焼く「CD-R」

→高性能と低価格化で急激に普及し始めたCD-R。書き換え可能なCD-RWも登場し、その最新動向は。

特集 再論・パソコンは「音」だ！

→近頃のパソコンには必ずついているサウンド機能。おまけのようにつけられた「音」は今後どのような変化を遂げ、「サウンド」になりうるのか。

○ **L.A.N.T.I.M.E.S.** 3月号

特集 長野オリンピックの情報システム

→長野オリンピックで利用されている情報システム。この大会のために開発されたシステムを中心に解説

特集 R A I Dコントローラ4製品比較テスト

→R A I Dコントローラには高速性と耐障害性が要求されるが、同じように見える製品もいろいろな違いが有る。

レポート 98年番「ネットワーク構築」5つのキーワード

→98年ネットワークはどのように変化、進化するのか。WinNT、E C、インフラストラクチャなど5つのキーワードに分けて解説

レポート 今後の展開が期待される無線LAN製品

→LANの普及とともに需要が有り、ようやく利用可能な状況まで性能がアップした無線LAN製品の状況

○ **D.O.S/V.m.a.g.a.z.i.n.e** 3月1日号

特集 3Dアクセラレータ'98

→アクセラレータの標準となりつつある3Dアクセラレータ。その現状と、アプリケーションの対応について